



即時リリース用

お問い合わせ先：
コーポレート・コミュニケーションズ
フランチェスカ・ノーラン
Acucela Inc.
(206) 805-8308
francesca.nolan@acucela.com

Acucela 社、「2012 ライフサイエンス知財フォーラム」に参加

ワシントン州シアトル（2012年2月1日） – 失明疾患の新規治療薬の開発に取り組んでいるバイオテクノロジー企業 Acucela 社は、代表取締役会長・社長兼 CEO の 窪田良博士が、今月東京の経団連会館で開催される「2012 ライフサイエンス知財フォーラム」に参加することを発表しました。

日時：2012年2月10日（金）
会場：経団連会館 国際会議場（東京都千代田区）
申し込み方法：<http://www.jpma.or.jp/event/information/120210.html>

日本製薬工業協会（JPMA）と一般財団法人バイオインダストリー協会（JBA）が共催する本フォーラムでは、政府、製薬産業、アカデミアが日本発の創薬イノベーション活性化のために取り組むべき課題について議論を行います。

窪田博士は「著名な官僚、科学者、日米大手製薬企業の重役の方々と共にプレゼンテーションをさせて頂けることを光栄に思います。日本の創薬イノベーションの活性化に向けて、活発な意見交換を楽しみにしています。」と述べています。

Acucela 社について

Acucela 社 (www.acucela.jp) は、世界中で数千万人の患者が苦しんでいる失明疾患の新しい治療法を開発するため、視覚サイクルモデュレーター（VCM）の臨床活用に取り組んでいるバイオテクノロジー企業です。当社の経口投与型 VCM 治療薬は、視力保護をするために、網膜内の細胞に選択的に作用し、患者に甚大な影響を及ぼすドライ型加齢黄斑変性（ドライ型 AMD）、未熟児網膜症、スターガット病及び糖尿病網膜症などの眼疾患治療への応用が期待されています。なお、ドライ型 AMD の治療薬として承認を受け上市されている薬剤はまだありません。当社は大塚製薬と共同で、北米においてドライ型加齢黄斑変性（ドライ型 AMD）を対象とした ACU-4429 の開発を、ま

た、米国でドライアイを対象としたレバミピド点眼、緑内障を対象に OPA-6566 の開発を行っています。Acucela 社は、緑内障の原因遺伝子の発見者である眼科医、窪田良 (M.D.、Ph.D.) によって設立されました。

###